

公的社会教育施設が行う情報発信のあり方

～市の生涯学習総合サイト・総合誌としての機能を高めるために～

平成24年3月

名古屋市生涯学習推進センター

はじめに

総務省の情報通信統計データベースによると、平成 22 年度末現在、インターネットの利用者数は 9400 万人を超え、個人の利用率は 78%、企業の利用率は 99%を超える状況にあります。また、携帯電話の契約数は 1 億 2000 万を超え、そのうちの 98%がモバイルインターネットの契約をしている状況にあります。こうした情報通信機器の利用の拡大は、今後も拡大する傾向にあると予想され、いわゆるデジタルネイティブといわれる生まれたときからパソコンやインターネット、携帯電話のある環境で育つ世代が増加することも予測されています。

このように、情報通信機器の利用の拡大は、情報通信技術の発達を伴って、必要な情報を「いつでも、どこでも、だれでも」容易に入手することを可能にしてきました。これは、生涯学習情報でも同様で、インターネットや携帯電話といったマルチメディアを使って、容易に生涯学習情報を入手する市民の割合は、増加するものと考えられます。そこで、マルチメディアを利用した生涯学習情報を充実させていくことは、市民にとって、多様な生涯学習情報の中から自分に合った情報の選択を可能とすることにつながり、これは生涯学習の推進に大いに寄与するものと考えます。

一方、平成 21 年度に名古屋市生涯学習推進センター（以下推進センター）が実施した「生涯学習に関する市民意識調査」によると、マルチメディアを利用して生涯学習情報を取得することを希望する割合（57.8%）、生涯学習情報を入手する手段として公的施設からの情報と回答する割合（58.2%）が高く、公的施設からの生涯学習情報の提供に期待を寄せる市民のニーズの高さが伺えます。

こうした背景から、公的施設、とりわけ公的社会教育施設は、これまでの紙媒体での生涯学習情報の発信に加え、マルチメディアを活用した生涯学習情報の提供を充実・拡大することが大切であると考えます。また、これまでの紙媒体に対する市民からの需要も依然として高いと予想され、紙媒体の利便性を活かした生涯学習情報の提供を充実させていくことも大切であると考えます。

そこで、本研究では、推進センターが運営するインターネットサイト「生涯学習 Web ナビなごや」（以下「Web ナビなごや」）と推進センターが発行する月刊誌「生涯学習なごや」の充実を図り、公的社会教育施設が行う情報発信のあり方を検討しています。

本研究が、市民にとって多様な生涯学習情報を選択でき、さらには本市の生涯学習の推進に寄与することになれば幸いです。

平成 24 年 3 月

名古屋市生涯学習推進センター

もくじ

はじめに

I 研究のねらい 1

II 研究の内容

1 「生涯学習に関する市民意識調査」分析結果 1

2 「Web ナビなごや」のリニューアル 3

(1) 現状と課題

(2) 改善の方向性

(3) リニューアル

(4) リニューアルの検証

3 「生涯学習なごや」の充実12

(1) 現状と課題

(2) 改善の方向性

(3) 改善後の状況

III 今後の情報提供のあり方

1 推進センターの役割17

2 今後の方向性19

おわりに

I 研究のねらい

「生涯学習に関する市民意識調査」の結果や「Web ナビなごや」のアクセス現状から、課題を整理し、「Web ナビなごや」の充実を図る。さらに、「Web ナビなごや」のリニューアルや「生涯学習なごや」の改善による状況を分析し、公的社会教育施設が行う情報発信のあり方を明らかにする。

本研究は、以下の2年次計画で実施する。

- ・平成22年度：マルチメディアによる情報発信のあり方
- ・平成23年度：公的社会教育施設が行う情報発信のあり方

II 研究の内容

1 「生涯学習に関する市民意識調査」分析結果

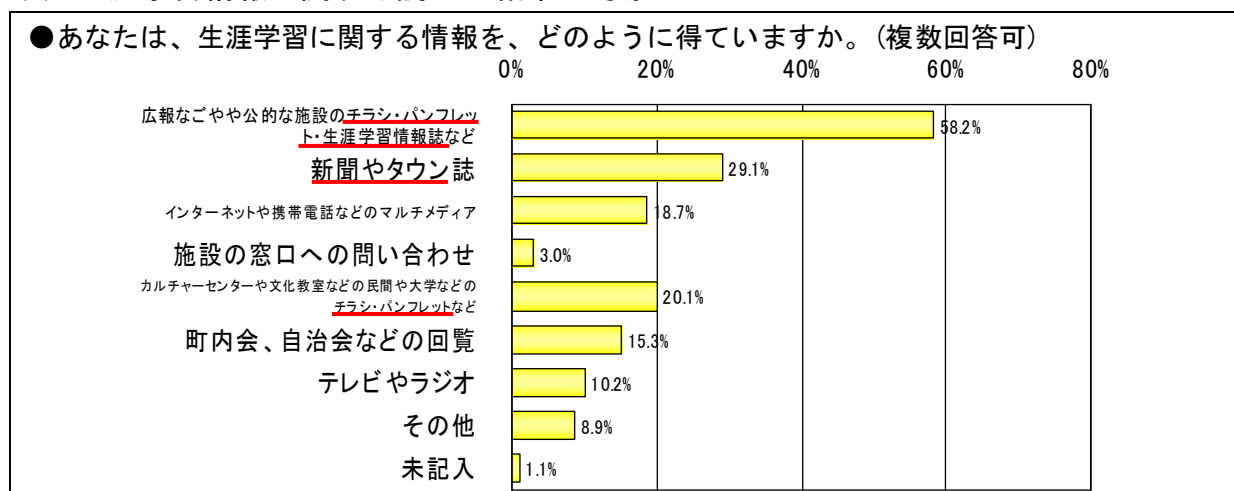
名古屋市教育委員会では、市民の学習状況と学習志向を把握するために4年に1回「生涯学習に関する市民意識調査」（以下、市民意識調査）を行い、今後の公的社会教育施設における生涯学習施策の方向性を明らかにしている。

平成21年9月に実施した調査において、生涯学習情報に関する結果をもとに、市民から求められている情報発信のあり方について考察する。

(1) 調査実施の概要

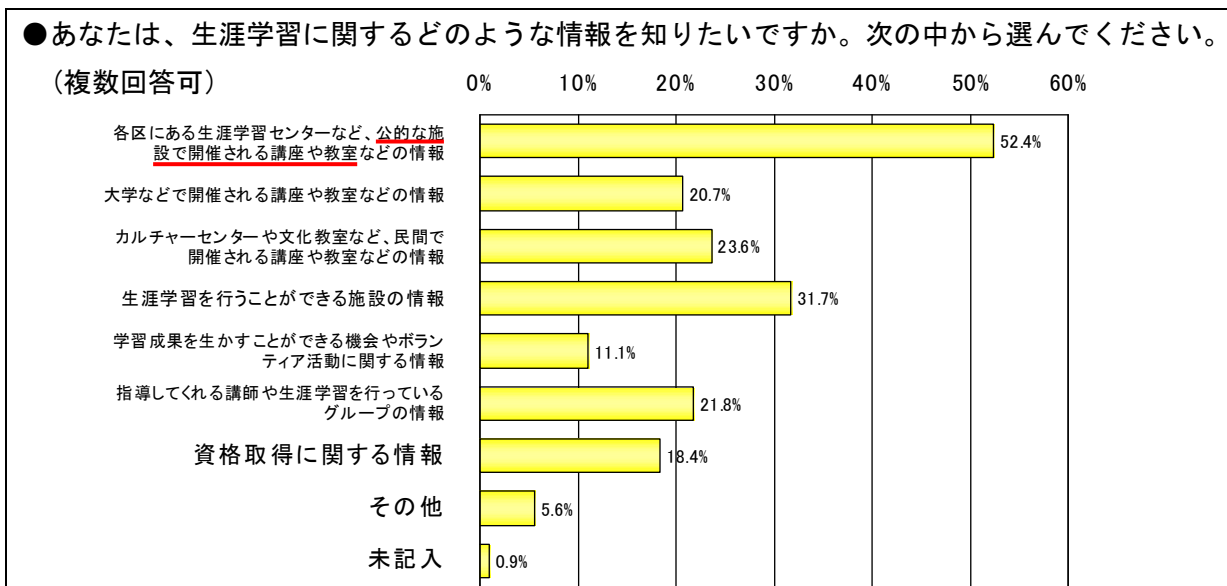
- ・調査地域：名古屋市内
- ・調査対象：上記地域に居住する20歳以上の男女個人
- ・調査対象者数：4,000人
- ・対象者抽出方法：住民基本台帳より、層化二段無作為抽出
- ・有効回答数：1,493人 回収率37.3%
- ・調査方法：郵送法
- ・調査期間：平成21年9月1日～30日
- ・調査企画：名古屋市生涯学習推進センター

(2) 生涯学習情報に関する調査の結果と考察



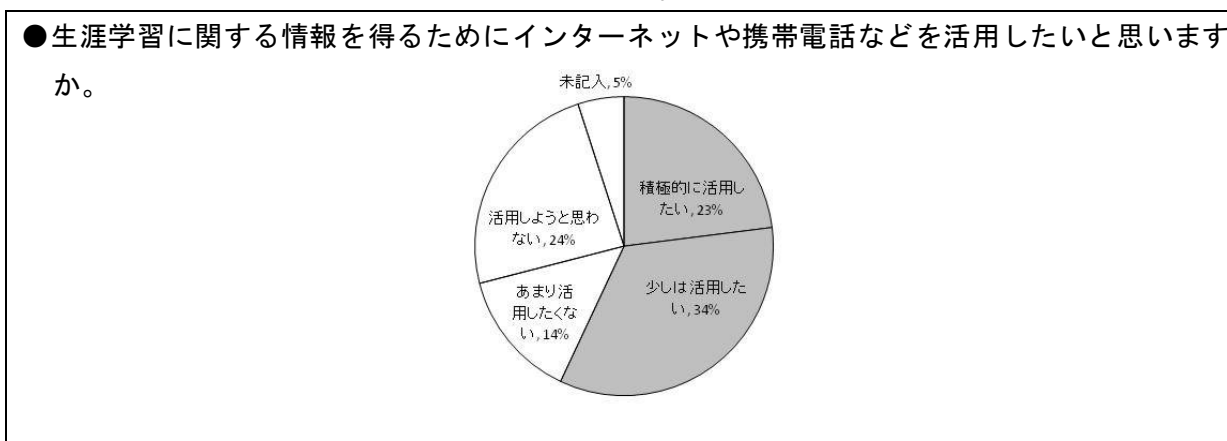
【資料 1】 情報入手手段に関する調査結果

生涯学習に関する情報を入手する手段は、「公的施設からの情報」が 58.2%でトップになっている。また、「チラシ」「パンフレット」「情報誌」「新聞」「タウン誌」など、紙媒体から情報を得ている割合が非常に高く、「マルチメディア」については 18.7%にとどまっている。しかし、前回調査（平成 17 年度）と比較すると、「マルチメディア」と回答した割合は、50 代男性で 5.4 ポイント（21.1%→26.5%）、40 代女性で 8.7 ポイント（13.0%→21.7%）増加しており、全体的にも調査ごとに割合が増加している。



【資料 2】知りたい情報についての調査結果

市民が知りたい生涯学習情報については、「公的施設の講座や教室」が 52.4%でトップになっている。続いて、「生涯学習を行うことができる施設の情報」の 31.7%が続いている。また、「民間」や「大学」で開催される講座や教室の情報を希望する割合も合わせて 44.3%と高くなっている。



【資料 3】マルチメディアの活用についての調査結果

学習情報を取得する方法として、マルチメディアの活用は、「少しは活用したい」（34.4%）と「積極的に活用したい」（23.4%）で全体の 5 割を超える。前回調査と比較すると「積極的に活用したい」と回答した割合が、20～50 代の男女で大きく増加している。

以上3つの調査結果から、生涯学習情報に関しては、公的施設からの紙媒体による講座や教室の情報を得ている市民が多いことが分かる。また、マルチメディアの発展に伴い、マルチメディアを手段として情報を得たいとする市民の割合が高まっていることが分かる。そこで、紙媒体による情報発信の充実を図りつつも、今後の発展動向を踏まえながらマルチメディアによる情報発信の充実を図っていく必要がある。

2 「Web ナビなごや」のリニューアル

(1) 現状と課題

推進センターが運営する「Web ナビなごや」は、平成19年2月に名古屋市ウェブサイト運営要綱に基づき、散在している生涯学習情報を統一し、利用者の利便性を高め、生涯学習の推進を図ることを目的に開設した。

平成22年4月の時点で、掲載している情報は、区生涯学習センターや女性会館の空室検索、学習情報検索、施設検索、ボランティア検索、学習グループ検索、各種施設情報、大学のホームページ・電子申請等へのリンク集などである。

	H18	H19	H20	H21	H22
年間	49,081	90,677	101,061	100,808	101,867
月平均	4,090	7,556	8,422	8,401	8,489

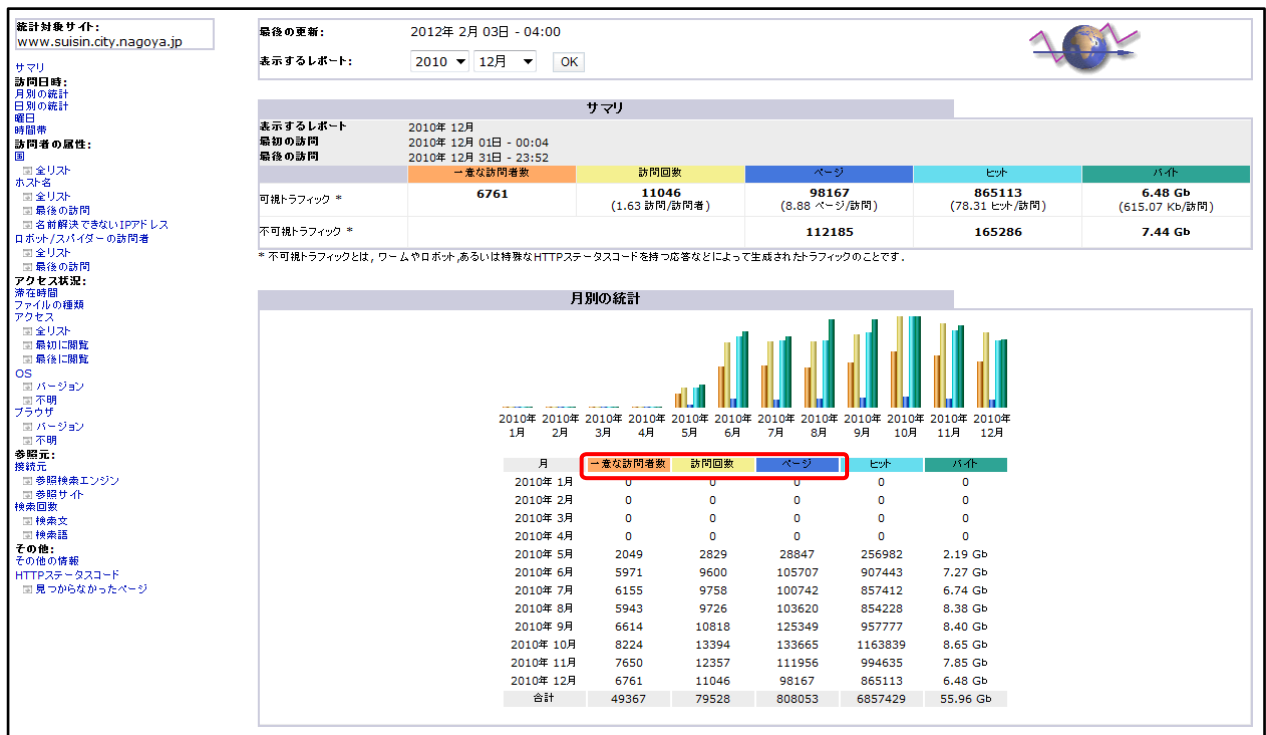
【資料4】トップページのアクセス数

(H18は、当時の推進センターホームページのアクセス数)

【資料4】のように、平成19年に「Web ナビなごや」を立ち上げたことで、導入前と比較すると、アクセス数が年間・月平均とも約2倍に増加した。生涯学習情報を統一し、市の総合サイトとして開設された効果が表れたと考える。しかし、平成20～22年度のアクセス数はほぼ横ばいであり、導入当初目標値に設定した月平均1万アクセスには届いていない。

これは、立ち上げ当初は注目度も高く、アクセスが増加したものの、その後は固定した利用者のアクセスにとどまっているためと考える。特に、【資料4】のアクセス数は、トップページのカウンターの数値から算出されている。そのため、「お気に入り」に登録するなどしてトップページを経由しない場合は、アクセス数にカウントされない。

そこで、ページごとのアクセス数や経由する状況を把握し、「Web ナビなごや」の課題を整理するために、平成22年5月にログ解析ソフト「AWStats」を導入した。このソフトでは、【資料5】のように「月別」「日別」「曜日別」「時間帯」におけるアクセス数を表示させることができる。また、「一意な訪問者数」「訪問回数」「ページ」といった数値で表示することが可能である【資料6】。他にも、「訪問者の滞在時間」「ページごとのアクセス数」などの解析も可能である。



【資料 5】 ログ解析ソフト「AWStats」による解析結果画面

一意な訪問者数
 当月内にアクセスのあったクライアントホスト（IPアドレス）の数。同じIPアドレスであれば複数回のアクセスは1回とカウントされる。したがって、およそ当月にアクセスした実際の人数と考えられる。

訪問回数
 当月内にアクセスのあったIPアドレスの総数。上記と違い、複数回訪れたIPアドレスは、その回数分カウントされる。したがって、およそ当月にアクセスしたのべ人数と考えられる。また、これがトップページのアクセス件数とほぼ同数である。

ページ
 一般に、ページビュー（PV）と呼ばれる。サイトのアクセス数の指標として最もよく利用される。したがって、当月に閲覧されたページ総数と考えられる。

【資料 6】 アクセス解析数値の見方

【資料 6】 のアクセス解析の数値のうち、「一意な訪問者数」については、当月において、サーバーにアクセスしたパソコンのうち、重複を除くパソコンの台数を示しているため、当月にアクセスしたパソコンの総数は、当月の利用者の数と近い数値と考えられる。「ページ」については、「お気に入り」に登録してある場合でも「Webナビなごや」を閲覧すれば1カウントとして数えられるため、トップページへのアクセス件数よりも「Webナビなごや」全体の利用状況を示す数値と考えられる。よって、今後は「一意な訪問者数」の増加を目指し、アクセス件数の比較は「ページ」の増減で比較することが大切と考える。

以上の結果を踏まえて、実際にアクセス解析を行った。月別では、7・8月と比較し、9・10月のアクセス数が多くなっていることがわかる【資料 7】。これは、秋からの講座・講演会などの生涯学習情報が更新されるためと考えられる。

日別では、月初めにアクセス数が多く、

	一意な訪問者数	訪問回数	ページ
6月	5971	9600	105707
7月	6155	9758	100742
8月	5943	9726	103620
9月	6614	10818	125349
10月	8224	13394	133665
11月	7650	12357	111956

【資料 7】 月別アクセス数（H22.6～11）

月末にかけて徐々にアクセス数が減少していることがわかる【資料 8】。これは、月初めに各区にある生涯学習センター等の空室情報が更新されるためと考えられる。

	一意な訪問者数	訪問回数	ページ
1日～10日	4263	44559	369618
11日～20日	4256	35800	319829
21日～30日	3838	31597	305188

【資料 8】 日別アクセス数 (H22.11)

滞在時間では、15分以内の滞在が8割を超えていることがわかる【資料 9】。これは、短時間に必要な生涯学習情報を得ようとする結果であると考えられる。

	訪問回数	割合
0s-30s	6040	45%
30s-2mn	2216	16.50%
2mn-5mn	1601	11.90%
5mn-15mn	1712	12.70%
15mn-30mn	762	5.60%
30mn-1h	689	5.10%
1h+	374	2.70%

【資料 9】 滞在時間 (H22.11)

閲覧 URL では、区生涯学習センターや女性会館の「空室情報検索」がトップで全体の39%、「区センター管理画面」「施設情報検索」を加えると全体の7割であることがわかる。次に続くのは、学習グループ検索、

講座・事業情報検索である【資料 10】。これは、空室情報は、毎日更新されることや、何度も施設を利用する利用者があるためと考えられる。

		ページ	割合	最初に閲覧	最後に閲覧
1位	空室情報検索	47826	39%	6283	6188
2位	区センター管理画面	25759	21%	516	1063
3位	施設情報検索	11940	10%	462	799
4位	学習グループ情報検索	10419	8%	2015	1842
5位	講座・事業検索	8801	7%	245	912
6位	トップページ	7572	6%	3113	1583
7位	推進センター管理画面	1931	2%	718	176
8位	ボランティア検索	964	1%	671	535
9位	新着情報	838	1%	50	83

【資料 10】 閲覧 URL (H22.11)

反面、学習グループ情報や学習情報は日々の更新は少ないため、学習グループへの参加や講座の受講を希望するときだけにアクセスが限られてしまうと考えられる。

以上の結果から、「Web ナビなごや」に関しては、以下の3点が課題と考える。

- ア 季節に応じたタイムリーな情報提供、および利用者が求める情報を随時発信することができる環境づくり
- イ 検索内容の充実
- ウ トップページの魅力向上

(2) 改善の方向性

ア 季節に応じたタイムリーな情報提供、および利用者が求める情報を随時発信することができる環境づくり

日々の更新は、区生涯学習センター等の空室情報のみであった。その他の更新は、月刊誌「生涯学習なごや」のアップと春秋の講座情報のアップに限られていた。空室情報の更新は、区生涯学習センターおよび女性会館に管理画面へアクセスできるID・パスワードを付与しているため、各施設の端末から入力し、随時更新することができる。一方、その他の更新は業者に委託して行うため、情報の更新ごとに費用が発生していた。「Web ナビなごや」の管理者である推進センターは、限られた予算の中での定期的な情報の更新だけを対象としていた。

そこで、ランニングコストをかけずに、情報を発信することができるよう、推進センターが、直接更新できるシステムづくりが必要である。

イ 検索内容の充実

検索できる情報は、講座・事業情報、施設情報、空室情報、学習グループ情報、ボランティア情報の5つである。この中で、空室情報は、区生涯学習センターおよび女性会館が、随時更新している。施設情報、学習グループ情報、ボランティア情報は、「Web ナビなごや」の管理者である推進センターが、随時更新している。講座・事業情報は、年に2回、区生涯学習センター、および女性会館から寄せられる情報を、推進センターがデータベースにアップし、更新している。情報の更新に費用は発生していない。

そこで、施設情報、空室情報、学習グループ情報、ボランティア情報は継続して情報の更新に努め、講座・事業情報は更新回数を増やすこと、情報提供を受ける施設を拡大することが必要である。

ウ トップページの魅力向上

トップページは、目的別に関連するページにアクセスすることができるアイコンと、情報誌「生涯学習なごや」や講座案内のダウンロード、新着情報が主な内容である【資料11】。



【資料11】「Web ナビなごや」トップページ

アクセス状況は、トップページの閲覧は6%に対し、Aの目的別のアイコンの利用は65.8%で上位を占める。Bの情報誌等のダウンロードは0.5%。Cの新着情報は0.7%。B、Cの利用は、極めて少ない【資料12】。

順位	ページ数/URL				
	アクセス	割合	最初に関覧	最後に関覧	
1	空室情報検索	47826	39%	6283	6188
2	区センター管理画面	25759	21%	516	1063
3	施設情報検索	11940	10%	462	799
4	学習グループ情報検索	10419	8%	2015	1842
5	講座・事業検索	8801	7%	245	912
6	トップページ	7572	6%	3113	1583
7	推進センター管理画面	1931	2%	718	176
8	ホランフェア検索	964	0.8%	671	535
9	新着情報	838	0.7%	50	83
10	生涯学習って	772	0.6%	19	95
11	愛知県内大学公開講座・事業情報	730	0.6%	417	424
12	生涯学習推進センターへのアクセス	681	0.6%	22	211
13	生涯学習センター等一覧	540	0.4%		トップページ
14	学習相談のご案内	395	0.3%	33	110
15	生涯学習なごや11月号	308	0.2%	7	29
16	講座案内	261	0.2%	54	87
17	名古屋市リンク関連	202	0.2%	11	34
18	サイトマップ	183	0.1%	15	32
19	トップページ	180	0.1%	30	30
20	生涯学習なごや10月号	160	0.1%	6	18

【資料12】 アクセス解析 上位20位 (H22.6~11)

トップページのアクセスより空室情報検索などの検索ページのアクセスが多いのは、利用者は「お気に入り」に目的別のページを登録し、トップページを経由しないでアクセスしているからであると考えられる。また、トップページの主な情報である新着情報や情報誌、講座案内のダウンロードは、合計しても1%程度である。新着情報やダウンロードは、情報の更新が月に1回から半年に1回程度であるため、利用者にとって魅力を感じない結果となっている。

そこで、新着情報を随時更新するなど、利用者のニーズにあったタイムリーな情報発信に努め、魅力あるトップページに改善することが必要である。

(3) リニューアル

これまでの課題とそれを踏まえた改善の方向性をもとに、次の3点の取り組みが必要であると考え、平成23年3月25日にリニューアルを実施した。

ア 管理画面

推進センターの端末から情報発信できるよう、管理画面をもち、情報発信の即時性の確保を図った。その結果、推進センターの端末から、講座・事業の募集や公開講座の案内など、タイムリーな情報を「お知らせ」画面に随時発信できるようになった【資料13】。

お知らせ	
●平成23年12月8日	追加募集(生涯学習センター・女性会館・推進センター)が始まりました。
●平成23年12月1日	なごやか市民教室 講座案内・講師プロフィール・受講者募集情報を掲載しました。 「講座等を探したい」からも検索できます。ご利用ください。
●平成23年12月1日	生涯学習センター・女性会館の公開講座情報(1~3月)を掲載しました。
●平成23年11月24日	情報誌「生涯学習なごや」12月号を掲載しました。
●平成23年11月24日	12・1月から大学で始まる講座情報をアップしました。(名古屋文化短期大学・名古屋市立大学) 「講座等を探したい」からも検索できます。ご利用ください。
●平成23年11月21日	平成23年12月の学習相談日を掲載しました。
●平成23年11月21日	女性会館で行われるエレベーター取替工事の情報を掲載しました。
●平成23年11月15日	名古屋文化短期大学「クリスマスジェルキャンドルレッスン」開催の情報を掲載しました。
●平成23年11月10日	市民大学公開講演会のお知らせを掲載しました。 南山大学共催「困難な時代をどう生きるか」
●平成23年11月1日	愛知きわみ看護短期大学公開講座の情報を掲載しました。 「児童相談所の機能・権限など(虐待、里親を中心に)」

お知らせの一覧はこちらから 

【資料13】「お知らせ」画面

また、調査研究報告や専用フォームもアップすることができるようになった【資料14】。

 学習状況と学習志向に関する調査等 調査研究報告	 講座・事業情報をお寄せください 専用フォーム等
名古屋市調査研究報告一覧 ● トップページ > 名古屋市調査研究報告一覧 ●● 名古屋市調査研究報告一覧 ●平成23年03月31日 生涯学習センターにおける今後の学習機会提供のあり方～人材育成・事業連携・学習還元・人材活用の視点から～ ●平成22年03月31日 生涯学習に関する市民意識調査・市民の学習状況と学習志向に関する調査 ●平成18年03月31日 生涯学習センターにおける「なごや学」のあり方 ●平成18年03月31日 生涯学習に関する市民意識調査・市民の学習状況と学習志向に関する調査	ダウンロード一覧 ● トップページ > ダウンロード一覧 ●● ダウンロード一覧 ●平成23年10月14日 インターネットサイト「新着情報」専用フォーム ●平成23年10月08日 大学連携講座・公開講演会 専用フォーム ●平成23年11月15日 インターネットサイト「講座・事業情報(講座等を探したい)」専用フォーム ●平成23年03月25日 生涯学習なごや(月刊・情報誌)専用フォーム

【資料14】「調査研究報告」「専用フォーム等」一覧

イ 検索機能の充実

大学等で行われる市民向けの講座情報を収集し、区生涯学習センター等の講座と同様に、大学等の講座も検索できるようにして、学習情報検索の機能の拡充を図った。

従来より、「講座・事業情報」「施設情報」「空室情報」「学習グループ情報」「ボランティア情報」については検索機能を備えていた。さらに講座・事業情報の充実を図るために、大学等に対して行政のウェブページに掲載される広報力や信頼感、参加者拡充の可能性などを示し、専用フォームで随時情報を受け付けるようにした。また、平成23年度からの新規事業「なごやか市民教室」の講座情報も検索できるようにした【資料15】。その結果、【資料16】のように、情報数が大幅に増加し、検索機能の充実を図ることができた。

【資料15】「講座・事業情報」検索画面

	総講座数	大学講座数 (大学数)	なごやか 市民教室数
22 後期	318	48 (2)	0
23 前期	462	180 (4)	0
23 後期	685	335 (9)	20

【資料16】「講座・事業情報」掲載数

ウ トップページ

「3段コラムから2段コラムへ変更する」「新着情報を10段表示にする」「インターネット申請の手順を図解入りで示す」ことにより、トップページの魅力向上をめざした。

「3段コラムから2段コラムへ変更する」ことによって、画面がすっきりとし、見やすさが向上した。また、「新着情報を10段表示にする」ことにより、タイムリーな情報を発信しやすくなった。「申し込みたい」のアイコンを新設し、インターネット申請の手順を図解入りで示すことにより、短時間で目的の情報にたどり着けるようになるなど、市民にとって利便性が高め、アクセス数の増加を図った【資料17】。



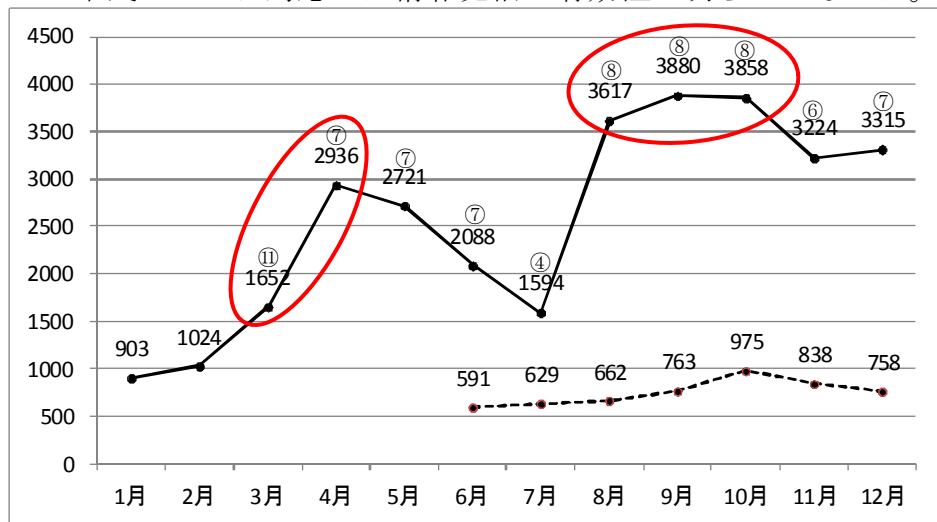
【資料 17】トップページ画面

(4) リニューアルの検証

リニューアルによって改善された点について、アクセス数の解析結果をもとに検証を行った。

ア 管理画面

「お知らせ」のアクセス数は、リニューアルした3月以降増加している。また、講座の申し込みが始まり、「お知らせ」に掲載する情報が多い月のアクセスも増加している【資料 18】。前年度との比較においても大きな増加が見られ、タイムリーかつ市民ニーズに対応した情報発信の有効性が明らかとなった。

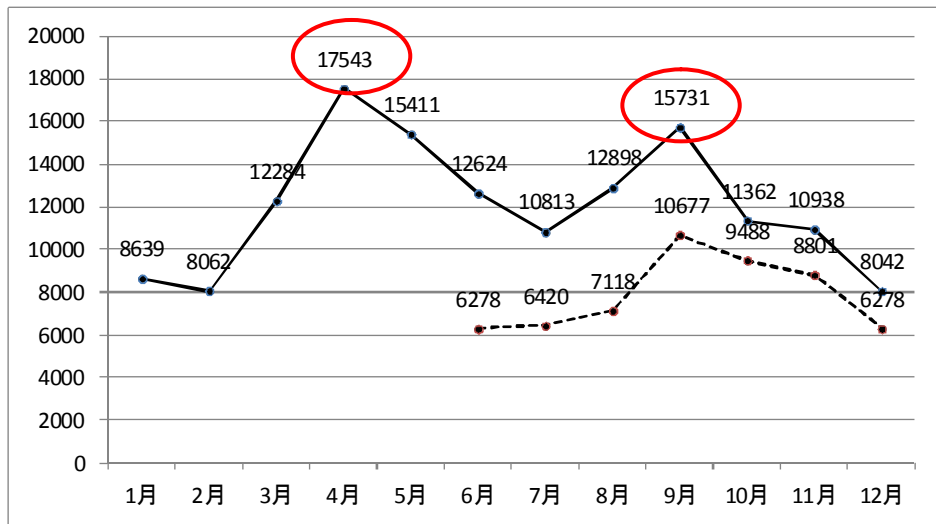


【資料 18】「お知らせ」画面アクセス数 (H23:実線、H22:点線)

※ ○数字は「お知らせ」掲載数

イ 検索機能の充実

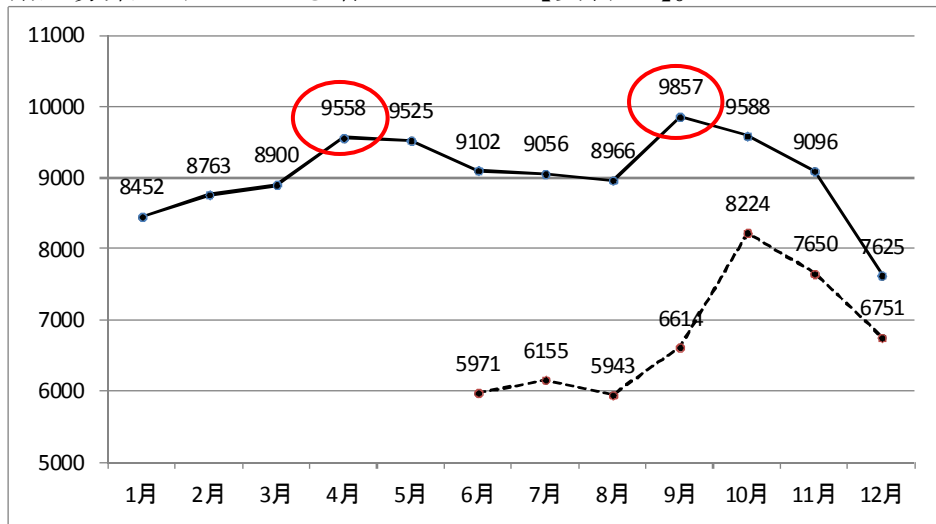
「講座・事業情報」へのアクセス数は、リニューアル後に明らかに増加している。特に、講座募集が始まる4・9月の増加が著しい【資料 19】。この傾向はこれまでも見られるが、アクセス数は全体的に増加していることから、検索情報の充実に対応した情報発信の有効性が明らかとなった。



【資料 19】「講座・事業情報」アクセス数 (H23:実線、H22:点線)

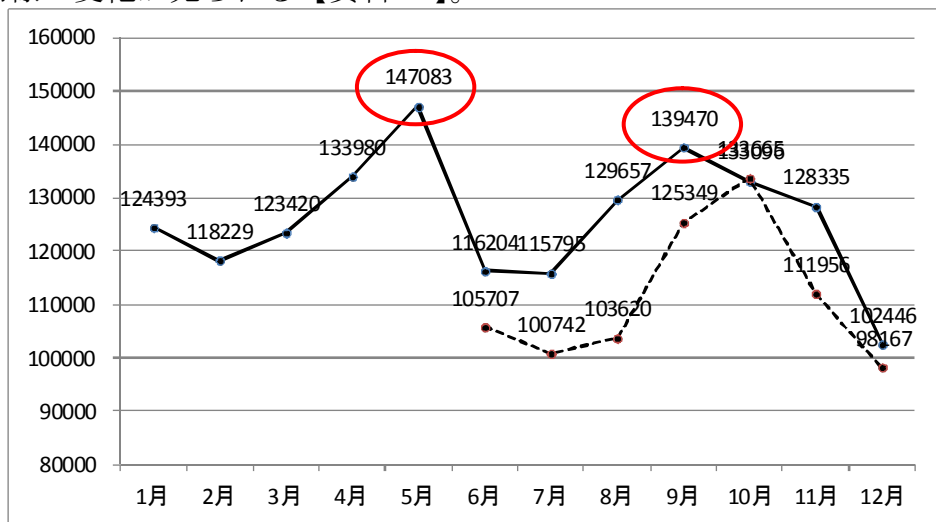
ウ トップページ

月ごとの利用者数を表す「一意な訪問者」は、前年度と比較すると増加しており、講座募集が始まる月も増加している【資料 20】。



【資料 20】「一意な訪問者」数の推移 (H23:実線、H22:点線)

アクセスしたページの総数を表す「ページ」についても、「一意な訪問者」数と同様の変化が見られる【資料 21】。



【資料 21】「ページ」数の推移 (H23:実線、H22:点線)

アクセス数の解析結果から、幅広く情報を収集し、タイムリーに発信していくことによって、アクセス数の増加につながったことが明らかとなった。

エ 新たな課題

【資料 19】から【資料 21】のアクセス解析の結果から、リニューアル前と同様に、情報が少なくなる時期のアクセス数が減少する傾向が見られた。23年度より大学等まで講座・事業の情報を受ける範囲を広げたが、今後、どの時期においても情報発信の充実を図るためにさらなる掲載施設の拡充が必要である。それを可能とするためには、行政のウェブページに掲載される広報力や信頼感、参加者拡充の可能性などを示していくこと、情報量増加に伴って事務的なしくみづくりを進めることが必要である。

また、月刊誌「生涯学習なごや」の情報をPDF形式でアップするだけでなく、どのような事業がどこで開催されるかを検索できるようにすると、確実に毎月、新しい検索情報が追加されることになる。それを可能とするためには、新たに電子版「生涯学習なごや」のページを作成していく必要がある。

さらに、「Webナビなごや」における情報発信の充実やアクセス数の増加が生涯学習振興にどのように寄与したのかを、市民のニーズや学習傾向の実態から把握していく必要もある。

3 「生涯学習なごや」の充実

(1) 現状と課題

推進センターが発行している月刊誌「生涯学習なごや」は、市内の博物館・美術館・生涯学習センター・図書館をはじめとした公的機関の事業のほか、大学の公開講座や民間カルチャーセンターの事業など、市民が気軽に参加できる学習情報を掲載している。毎月5,500部（A4・16ページ）発行し、市内の公的施設を中心に配架している。このように官民学の生涯学習情報を掲載した機関誌は、市において他に例がない。

平成23年4月の時点で、「文化の催し」「スポーツ」「生涯学習センターなど」「緑に親しむ」「タウン情報」「公開講座など」の6分野に分けて、各施設からの情報を掲載している【資料 22】。

分野		掲載施設	掲載数
文化の催し		博物館、美術館など	101
スポーツ		スポーツセンター、プールなど	226
学習・活動	生涯学習センターなど	生涯学習センター、図書館など	459
	緑に親しむ	緑地、公園、植物園など	77
	タウン情報	カルチャーセンター、福祉会館など	92
	公開講座など	大学等教育機関など	74

【資料 22】 22年度の掲載施設数

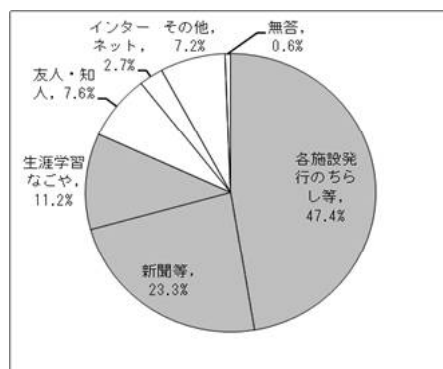
公的施設から多くの情報を受けており、生涯学習センターだけで約20%になっている。市民意識調査において、公的施設からの生涯学習情報の提供に期待を寄せる市民の割合が高い結果が得られたこと（【資料 1】）からも、市の生涯学習総合誌と

もいえる「生涯学習なごや」は、市民への情報発信において大きな役割を果たしていると考えられる。

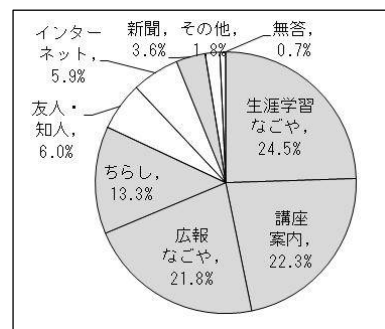
また、23年度に各区の生涯学習センター・推進センター・女性会館が実施した公開講座でのアンケート結果からは、依然として81.9%といった高い割合で市民は紙媒体から情報を得ていることが分かる。その反面、インターネットは2.7%にとどまっている。また、「生涯学習なごや」については11.2%であった【資料23】。この集計では、「生涯学習なごや」の項目をアンケートに設けていない施設も含まれているため、項目を設けている施設だけで集計すると、「生涯学習なごや」は20%を超える結果が出ている。さらに、推進センターだけの結果を見ると、24.5%でトップとなっている【資料24】。

そこで、マルチメディアを使用できない市民のためにも、また、紙媒体の利便性も考慮すると、市の生涯学習総合誌である「生涯学習なごや」による情報発信は重要であり、さらなる情報の充実を図る必要がある。しかし、インターネットをはじめとしたマルチメディアの発展が予想される中、紙媒体としての「生涯学習なごや」のあり方も同時に検討していく必要がある。

すでに「Webナビなごや」では、【資料25】のように毎月の「生涯学習なごや」をPDF形式でアップしており、そのデータを印刷したり検索したりすることは可能である。



【資料23】情報入手手段



【資料24】推進センターのアンケート結果

生涯学習 Webナビなごや

情報誌「生涯学習なごや」一覧

● トップページ > 生涯学習なごや一覧

● ● ● 生涯学習なごや一覧

「生涯学習なごや」は生涯学習推進センターが毎月発行している情報誌です。名古屋市内の様々な施設や県内の大学、民間カルチャーセンターなどの講座や講演会などの学習情報を掲載しています。

入手方法は名古屋生涯学習推進センターにお越しいただく、最寄の配布先にて(主な配布先)で入手する、もしくは【生涯学習Webナビなごや】にてこれまでの「生涯学習なごや」のバックナンバーをPDF形式ファイルとして掲載しておりますので、ご希望の号をダウンロードしてください。ダウンロード後必要に応じて印刷してご利用ください。
[主な配布先一覧はこちら](#)

※PDF形式ファイルをご覧いただくためには、Adobe Readerが必要です。
[アドビ社のサイト\(外部リンク\)より無料でダウンロード可能です。](#)



2011年バックナンバー

- 平成24年1月30日
- [情報誌「生涯学習なごや」12月号を掲載しました。](#)

● ● ● 情報誌「生涯学習なごや」1月号を掲載しました。

各目次ごとにファイルが分割されていますので、必要なページだけをダウンロードすることができます。全ページ一括ダウンロードも可能です。処理上、多少文字が判読しづらい場合もあります。画像データのため、閲覧環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

生涯学習なごや1月号ダウンロード

	<p>[表紙] …教育サポーターネットワークの情報(PDF形式:112KB)</p> <p>[P.1~P.2文化の催し] …美術館・博物館・科学館などの情報(PDF形式:360KB)</p> <p>[P.2~P.4スポーツ] …スポーツセンターの教室等の情報(PDF形式:465KB)</p> <p>[P.4~P.10学習・活動く生涯学習センターなど] …各区生涯学習センター・図書館の教室等の情報(PDF形式:1,131KB)</p> <p>[P.10~P.11学習・活動く緑に親しむ] …区内緑地グリーンプラザなどの教室等の情報(PDF形式:367KB)</p> <p>[P.11~P.13学習・活動くタウン情報] …カルチャーセンターなどの講座・教室等の情報(PDF形式:503KB)</p> <p>[P.13~P.14学習・活動公開講座] …大学などの講座・教室等の情報(PDF形式:333KB)</p> <p>[表紙紙] …後期大学連携講座、学習グループ情報、生涯学習相談のご案内等の情報(PDF形式:346KB)</p> <p style="text-align: center;">全ページ一括ダウンロード(PDF形式:2,827KB)</p>
--	---

【資料25】「Webナビなごや」画面

しかし、このページのアクセス状況を見ると、多くの市民に活用されているとは言い難い【資料 26】。これは、毎月掲載される 300 を超える事業の中から、市民が関心のある事業や場所・日程等から、参加可能な事業を探すのが難しいことが原因と考えられる。

	文化の催し	スポーツ	生涯学習センターなど	緑に親しむ	タウン情報	公開講座など	表紙	裏表紙	全ページ	計
4月	33	15	57	31	45	79	71	40	27	398
5月	22	21	52	20	53	38	56	30	33	325
6月	28	25	51	14	52	29	36	15	22	272
7月	21	23	54	15	62	37	35	27	29	303
8月	25	26	97	14	69	53	39	35	25	383
9月	23	27	53	10	47	48	38	29	31	306
10月	13	27	48	14	35	28	43	21	28	257
11月	13	12	33	8	37	28	34	24	29	218
12月	20	21	31	11	40	28	33	23	30	237
計	198	197	476	137	440	368	385	244	254	2699

【資料 26】「Web ナビなごや」アクセス数 (H23. 4~12)

そこで、マルチメディアの発展を見据えて、容易に掲載情報の検索が可能となる電子版「生涯学習なごや」の可能性を見出していく必要がある。

以上のことから、「生涯学習なごや」に関しては、以下の2点が課題と考える。

- ア 市の生涯学習の総合誌としての情報の充実
- イ 「Web ナビなごや」に「生涯学習なごや」検索ページを構築

(2) 改善の方向性

ア 市の生涯学習の総合誌としての情報の充実

【資料 26】のアクセス数を見ると、「生涯学習センターなど」の生涯学習センターや図書館における事業がトップで、民間の講座や福祉会館の事業、大学等の公開講座が続いている。これら市民のニーズが高い情報については、「生涯学習なごや」に掲載されているもの以外にも数多く存在している。

そこで、市の生涯学習総合誌としての機能をさらに充実させていくためには、掲載施設と事業数の拡大を図っていく必要がある。そのためには、公的施設だけにとどまらず民間や大学等からの情報提供をさらに拡充していくことが可能となるしくみづくりが必要である。

イ 「Web ナビなごや」に検索ページを構築

「生涯学習なごや」では、各施設からの事業情報を右のように掲載している【資料 27】。「施設情報」「事業名」「事業内容」「日時」「講師名」「対象・定員」「申込方法」などの各項目を、アイコンを使って掲載している。しかし、限られた紙面内でさらに掲載施設・事業数を増やしていくには、掲載する内容を削減したり、制限したりする工夫が必要となる。

そこで、このような制限がなく、今後のさらなる発展が予想されるマルチメディアを活用して、必要な情報をすばやく検索し、見つけることができるしくみを模索していく必要がある。

東生涯学習センター

〒461-0004
東区葵一丁目 3-21
☎ 932-4881 Fax 932-4882

- パソコン相談会
パソコンの使い方でわからないところを助言する。
- 🕒 2/22、3/7(水)
13:30~15:30
- 👤 東ITボランティア・HITの会
- 🏠 市内在住在勤の方・各回 12名
- 📅 当日会場にて、13:00~先着順

※1人につき 30分以内

【資料 27】事業情報の掲載例

(3) 改善後の状況

これまでの課題とそれを踏まえた改善の方向性をもとに、平成 23 年度から次の 2 点の取り組みを実施した。

ア 掲載施設の拡大

産業界や市民ボランティア団体など、学習機会を提供する民間団体は無数に存在している。また、大学等においても、地域貢献を果たす役割として公開講座を多く開催している。このような豊富な生涯学習情報を収集できるようにするために、「Web ナビなごや」上に専用フォームをアップし、そこからダウンロードして情報提供できるようにした。また、毎年推進センターが開催している「大学連携協議会」において、「生涯学習なごや」への掲載におけるメリットを大学担当者に示し、情報提供を呼びかけた。

それと同時に、「生涯学習なごや」の掲載基準を明確にすることで、大学等・産業界・民間からの情報提供をどこまで広げるのかを示すことができるようにした【資料 28】。

- | |
|--|
| ① 国又は地方公共団体が主催又は共催の事業 |
| ② 地方公共団体等が設置する施設の指定管理者が主催する事業 |
| ③ 社会教育的事業を継続して行う団体の事業のうち、名古屋市、名古屋市教育委員会、県、国が後援する事業 |
| ④ 近郊の博物館・美術館等の事業 |
| ⑤ 愛知県内の大学が行う講座・講演会 |
| ⑥ 名古屋市内の民間、NPOが行う事業で、公共性が認められるもので、かつ名古屋市との共催、または後援事業の実績があるもの |
| ⑦ その他副館長が適当と認めるもの |

【資料 28】「生涯学習なごや」掲載基準

幅広く情報の提供を受けた結果、【資料 29】のように、月平均の掲載施設数と事業数はいずれも増加した。今後もこのような掲載施設の拡大を図るためにも、推進センターが継続して行っている大学等との連携を活かしていくことが重要である。

年度	施設数	事業数
H23	86	310
H22	85	290
H21	81	278

【資料 29】月平均掲載数

イ 「Web ナビなごや」に「生涯学習なごや」検索ページを構築

紙面による掲載情報量の制限がなく、今後のさらなる発展が予想されるマルチメディアを活用する方策として、「Web ナビなごや」上に電子版「生涯学習なごや」のページを追加した【資料 30～31】。

生涯学習なごや情報

・[トップページ](#) > 生涯学習なごや情報

●● **生涯学習なごや情報の検索**

月刊誌「生涯学習なごや」に掲載されている、最新のイベント情報を掲載しております。下記条件を選択の上、お探しのイベント情報の絞り込み検索をしてください。

●● **条件1 開催場所から探す**

「生涯学習センター等」「スポーツ施設」等の10カテゴリーから施設名を選択

●● **条件2 号数から探す**

3か月前までの情報を選択可能

●● **条件3 キーワード検索 ※入力例:デザイン**

「事業名」「日時」等、全項目が検索対象

●● **条件一致選択 ※必須選択です。**

どれかの条件一致 すべての条件一致

検索

【資料 30】「生涯学習なごや」検索画面

生涯学習なごや情報

・[トップページ](#) > 生涯学習なごや情報 > 検索結果

●● **生涯学習なごや情報の一覧**

お探しの生涯学習なごや情報一覧です。1ページに20件表示されます。絞り込み検索をしない場合、すべての生涯学習なごや情報が表示されます。

一致した件数 **2件** [1ページ目を表示しています]

号数	施設名	事業名	日時	詳細情報
24年4月	千種生涯学習センター	初心者向けパソコン相談室	4/18(水)10:00~12:00	詳細情報
24年4月	東生涯学習センター	パソコン相談会	4/25、5/2(水)13:30~15:30	詳細情報

【検索結果画面】
「検索画面」での検索条件に一致した情報が一覧表示される。

【詳細情報画面】
「検索結果画面」の「詳細情報」をクリックすると、事業の詳細情報が表示される。

生涯学習なごや情報

・[トップページ](#) > 生涯学習なごや情報 > 検索結果 > パソコン相談会

●● **パソコン相談会**

詳細情報

号数	24年4月
施設名	東生涯学習センター
事業名	パソコン相談会
内容	パソコンの使い方でわからないところを助言する。
日時	4/25、5/2(水)13:30~15:30
講師	東 IT ボランティア・HIT の会
会場	
対象・定員	市内在住在勤の方・各回 12名
費用	
申込	当日会場にて、13:00~先着順
備考	1人につき30分以内

【資料 31】「検索結果画面」「詳細情報画面」

トップページにアイコンを新規に表示し、「生涯学習なごや」検索ページを作成した。この検索ページは「講座・事業検索」と同様のシステムを活かし、「施設名」「掲載月」「キーワード」で検索できるようにした。また、このページに掲載される情報は、「生涯学習なごや」への情報提供時に使用する「専用フォーム」からデータベースを構築できるようにした。

その結果、施設に対しては新たな負担をかけることなく、情報量を充実させることが可能となり、「Web ナビなごや」の課題であったアクセス数が減少する時期に対応させることができた。また、紙媒体では紙面の制限があるため削除したり、簡略化した表示をしたりしていたが、このページ上ではその必要がなくなり、市民にとっては知りたい情報を見つけやすくした。

ウ 新たな課題

掲載施設を拡大することに伴い、情報量も増加してくる。そのため、限られた「生涯学習なごや」の紙面内でどのように掲載していくのかを検討しなければならない。そこで、掲載するにあたって必要最低限の情報は何かについて、市民ニーズや各施設の要望を集約した上で、掲載項目や表示方法の見直しを図っていく必要がある。

電子版「生涯学習なごや」については、平成 24 年 3 月にアップしたばかりのため、今後、アクセス解析の結果をもとに課題を見出し、改善していかなければならない。そして、紙媒体とマルチメディアとのバランスを考慮しながら、紙媒体からの完全移行も含め、今後のあり方を検討していく必要がある。

また、「生涯学習なごや」における情報発信の充実やアクセス数の増加が生涯学習振興にどのように寄与したのかを、市民のニーズや学習傾向の実態、各施設の事業の参加状況から把握していく必要もある。

Ⅲ 今後の情報提供のあり方

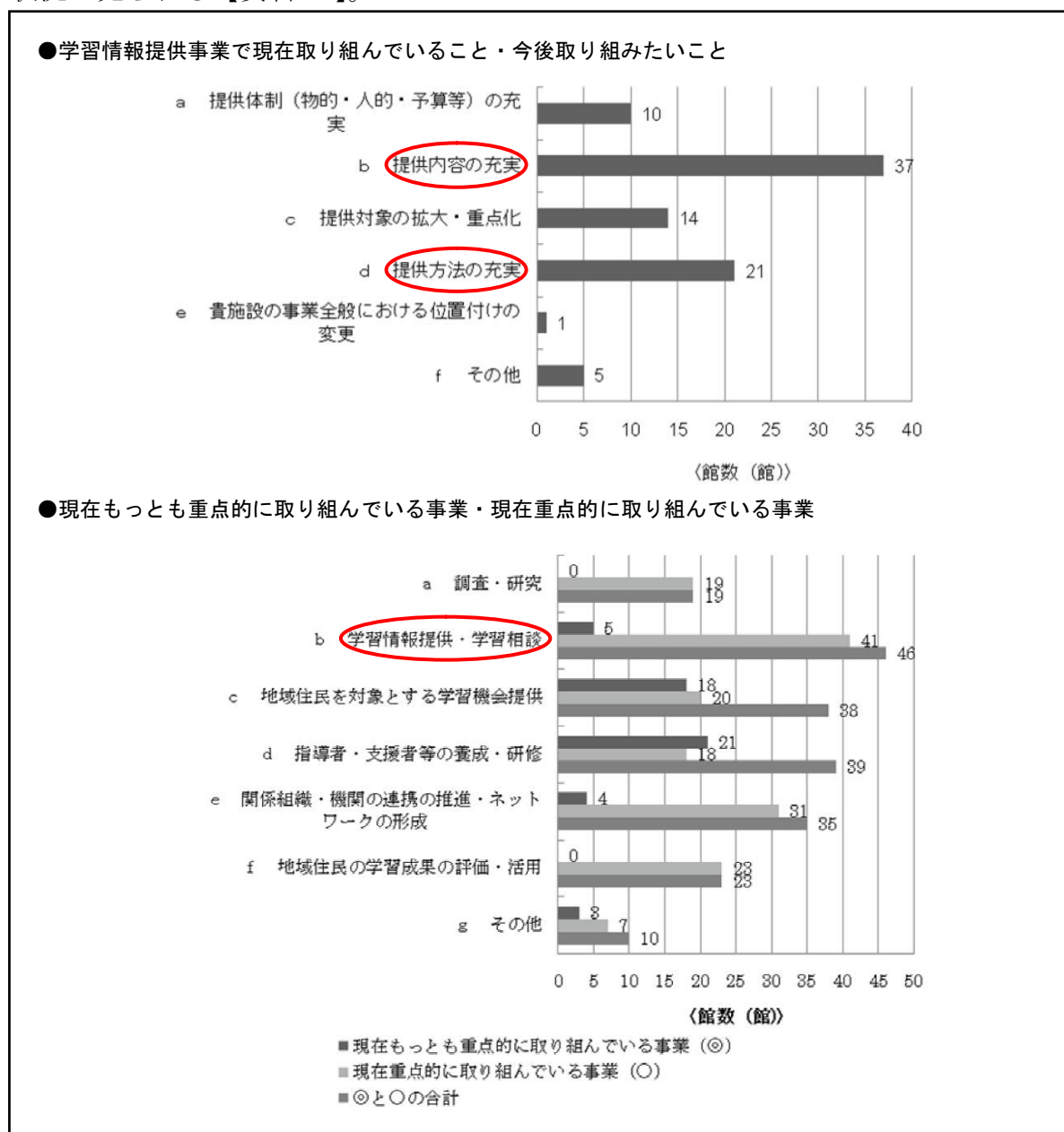
1 推進センターの役割

平成 2 年の中央教育審議会答申「生涯学習の基盤整備について」の中で、「地域における生涯学習をより一層推進していくためには、それぞれの地域の生涯学習を推進するための中心機関となる生涯学習センターを設置することが必要」と提言され、これを契機として全国的に推進センターの設置促進が図られた。また、平成 20 年に出された答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」の中では、「各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった知の循環型社会を構築する」ことの重要性などが指摘され、生涯学習を推進する拠点施設は社会の変化に対応した取り組みをしていくことが求められている。

推進センターは、昭和 63 年に生涯教育センターとして開館した後、平成 15 年と 22 年に出された名古屋市社会教育委員協議会の提言において、「企画・開発」「情報提供ネットワーク」「高等教育機関とのネットワーク」の拠点としての機能を重点化して生涯学習の中核施設として機能を発揮してきた。

そのうちの「情報提供ネットワーク」の拠点については、文部科学省国立教育政策

研究所社会教育実践研究センターによる平成 21 年度の調査研究において、以下のような状況が見られる【資料 32】。



【資料 32】平成 21 年度「生涯学習推進センター等の新たな役割に関する調査研究報告書」

全国の都道府県や政令指定都市にある推進センターの機能について調査された上記の報告書からは、学習情報提供の内容や方法を充実させる取り組みを実施している推進センターが多いことが分かる。また、「重点的に」学習情報提供を実施している推進センターの割合も高くなっている。これは、多様な施設からの多様な情報を収集・発信する拠点がそれぞれの地域では不可欠であり、その機能を推進センターが果たしているからだと考えられる。

これまで、名古屋市においても、生涯学習情報があらゆる施設から発信されてきた。これは、紙媒体による情報発信に対する市民ニーズが依然として高いことと、紙媒体による情報発信は市民が直接目に触れる、市民に直接手渡せる方法として各施設が効果的に活用しているからである。今後も、公的社会教育施設においては、各施設の特性に応じた、独自の情報発信の工夫をしていくことが妥当であろう。しかし、紙媒体

にしても、マルチメディアにしても、多くの情報があふれ、市民にとって知りたい情報を見つけるのは困難な状況がみられた。そこで、推進センターとしての情報発信のあり方として、幅広く情報を集約し、発信していくことの重要性を明らかにして、市の生涯学習総合サイト「Webナビなごや」や市の生涯学習総合誌「生涯学習なごや」の改善を試みた。このような意味において、推進センターが果たす役割は大きいと考える。

2 今後の方向性

今後のマルチメディアの発展やマルチメディアを使用する市民の増加、情報のさらなる充実への対応として、平成24年3月に電子版「生涯学習なごや」の追加をはじめとした「Webナビなごや」の再リニューアルを実施することにした【資料33】。

生涯学習Webナビなごや

名古屋市生涯学習情報総合サイト

生涯学習で楽しく学んで楽しい生活を。役に立ついろんな情報がいっぱい! きっと見つかります。

目的別で知りたい情報を調べよう

- 生涯学習センターや大学等の講座・事業を検索
- 生涯学習センター等の空室情報を検索
- 名古屋市内の施設を検索
- 教育サポーターネットワーク講師情報を検索
- 講座等を探したい
- 空室を見つけたい
- 会場を探したい
- 教えたい・教えてもらいたい
- 参加したい
- 最新のイベントを探したい
- アイコン追加
 - 生涯学習なごや → 【資料30・31】
 - なごやか市民教室 → 講座情報・講師情報など
- 名古屋市民教室の情報を知りたい
- インターネットで学びたい
- インターネット申し込みたい
- いろんな情報を知りたい

お知らせ

- 平成24年03月14日 **新着アイコン表示確認** **NEW**
- 平成22年04月12日 市民大学公開講演会のお知らせを掲載しました。COP10カウントダウン講演会「明るい未来をつくる『環境』最新技術1」(PDF形式:224KB)
- 平成21年03月10日 各区生涯学習センターでの平成21年3月、4月の学習相談日を掲載しました。
- 平成20年12月26日 各区生涯学習センターでの平成21年2月の学習相談日を掲載しました。
- 平成20年12月18日 名古屋市女性会館内情報フロアの学習相談カウンターは、12月20日(土)から1月4日(土)までお休みします。
- 平成20年12月01日 市民大学公開講演会のお知らせを掲載しました。「人権文化あふれるまちづくりをめざして」(PDF形式:774KB)
- 平成20年12月01日 「なごや生涯学習フェア2008スペシャル講演会『なぜはいけないか〜外来種問題と生物多様性を考える〜』」のお知らせを掲載しました。(PDF形式:263KB)
- 平成20年12月01日 各区生涯学習センターでの12月と平成21年1月の学習相談日を掲載しました。
- 平成20年11月11日 インターネット講座『e-ねっと*なごや』現代の課題講座「水を考える〜環境と生物多様性の保全のために〜」を開設しました。(外部リンク)
- 平成20年10月31日 インターネット講座『e-ねっと*なごや』なごや学講座「なごやの魅力-名古屋港の開港から現在までの年い立ち-」を開設しました。(外部リンク)
- 平成20年10月3日 インターネット講座『e-ねっと*なごや』親学関連講座「子どもと共に夢と心を育む」読み聞かせ」を開設しました。(外部リンク)

アップして1週間以内の情報に「New」表示

【資料33】再リニューアル後のトップページ画面

上記のトップページは、新規追加のメニュー以外にも、アイコンの色を変更したり、「お知らせ」表示数を増やしたりするなど、見やすく使いやすくするための修正も加えた。

この再リニューアルでは、「生涯学習なごや」のマルチメディアへの段階的な移行も見据えて、システムづくりを進めた。今後、どのタイミングでどのようなバランスで進めることが重要かを見極めていくことが課題である。社会状況の変化やマルチメディアの発展、市民の実態を踏まえて検討していく必要がある。

また、マルチメディアへの移行を進めていくことは、発信できる情報をさらに充実させることを可能にする。しかし、どこまでの範囲の情報提供を受け、発信していくかといった問題が出てくる。全国の政令指定都市においても、民間の情報提供を受け入れているのは14都市中4都市にとどまっている状況がみられる（平成18年文部科学省「生涯学習情報提供の在り方に関する調査研究」報告書）。推進センターにおいては、市の生涯学習総合サイト・総合誌の運営や発行を行う拠点としての役割を果たすために、大学等やカルチャーセンターをはじめとした民間にまで範囲を広げてきた。市民が「いつでも、どこでも」学ぶことができるようにしていくには、今後もさらに範囲を広げていくことが妥当と考える。

そして、情報発信の充実やアクセス数の増加が、本市の生涯学習振興にどのように寄与したのかを明らかにしていくことも大きな課題となった。この点については、生涯学習センターをはじめ、情報を掲載している大学や民間等での講座・事業に参加した市民へのアンケートや学習状況から調査する必要がある。平成25年度に実施予定である市民意識調査においても、この検証が可能となる調査項目を検討していきたい。

おわりに

情報通信技術の発達によって、「いつでも、どこでも、だれでも」容易に生涯学習情報を入手できる時代が遠くない将来に到来すると思われる。本研究においても、インターネットをはじめとしたマルチメディアによる情報発信について検討を進めてきた。しかし、今後のマルチメディアの発展に対応していくには、スマートフォンやツイッター、フェイスブック等の新しいツールの活用について検討し、どのように生涯学習振興を図っていくのかを探る必要がある。また、「いつでも、どこでも、だれでも」情報を入手できるようにするためにも、個人情報の保護やアクセシビリティに配慮して、誰もが情報を安全に取得でき、同様に情報を安全に共有できる状態にしていくことも重要である。

マルチメディアと紙媒体での情報発信において、推進センターが市の中核施設として、どのような役割を果たすべきかを中心に調査研究を進めてきた。公的社会教育施設の情報発信のあり方としては、各施設が存在する地域に密着した情報発信と、推進センターのような中核施設による集約・発信を両立させていくことが有効だと考える。そのような意味において、本研究が、今後の公的社会教育施設におけるさらなる効果的な情報発信の一助となることを願っている。

公的社会教育施設が行う情報発信のあり方
～市の生涯学習総合サイト・総合誌としての機能を高めるために～

発行年月 平成 24 年 3 月

発行部数 100 部

発 行 名古屋市生涯学習推進センター
〒460-0015 名古屋市中区大井町 7 番 25 号
TEL (052) 321-1571
FAX (052) 321-1574